

投票はテストではない。だから“正解”はない。

みんなが選んでいる人ではなくても、前回と違う人に投票することもできます。  
完全に意見の一致する人はほぼいないから、誰が最も自分の考えに近いかを考えてみましょう。

情報の集め方

1 選挙公報

投票日の2日前までに家に届くチラシ。  
立候補している人のプロフィールや政策がまとめて載っています。



2 政見放送

立候補者がテレビやラジオで意見を伝える放送。  
文字だけでは分からない、その人の雰囲気わかります。



3 街頭演説

駅前などで立候補者が演説をしています。  
じっくり話が聞けますし、直接本人に質問することもできます。



4 立候補者のホームページやSNS

当選したら実現したいことがまとめて書いてあることが多いです。



5 ポートマッチ

アンケートに答えると、自分の考えと近い立候補者や  
政党を教えてください。



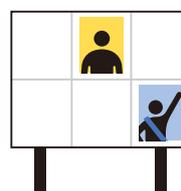
6 ニュース、新聞

選挙に関する様々な情報を知ることができます。



7 選挙ポスター

街に選挙ポスターの掲示板が立てられたら、もうすぐ選挙があります。  
ポスターのキャッチコピーで特徴や違いがわかるかもしれません。



どうひょうさき き かた れい  
投票先の決め方の例

1 政策で決める

どんな政策(国やまちづくりの方針)を訴えているか。  
あなたにとって、誰かにとって大事だなど思う政策はあるでしょうか。



2 政党で決める

どの政党に所属しているか、それとも無所属か。  
どの政党があなたの考えに最も近いかで選ぶこともできます。  
※政党については「06政党って何?」へ



3 プロフィールで決める

年齢、性別、出身地、仕事、経験をみて、親しみを持てたり、  
増えて欲しい属性の人に投票してもOK。



4 その他

①~③以外の方法で決めても、  
時間がなくて調べきれなくても大丈夫です。



よく分かってない人が投票しない方がいい、なんてことはありません。  
投票に正解はないし、この社会を作っているのは  
「誰か」じゃなくてわたしたち。選挙権がある人は、

あなたの「こうなったらいいな」を  
投票で意思表示してみませんか。

